



NO.

いちよう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

大般若転読法要

住職 平田真純

待乳山では、諸行事での尊天供養、また信徒の皆様
の御礼や祈願に際して、「大般若転読法要」が多く執り
行われています。

この法要では、大般若経六〇〇巻をすべて読誦する
「真読」に代えて、一巻ずつ大きく広げながら経題と
呪をお唱えする「転読」をいたします。

その転読作法に入る前には、法要を執行する趣旨を
述べる「表白」という文章をお唱えしますが、その
中に次のような一節があります。

大般若とは

三世の諸佛成等正覚の智母

十方の薩埵常修常証の師範なり

誠には

説く所は盡淨虚融の旨、述ぶる所は畢竟空寂の

理也

之に依って

国家安全の謀は般若の威力より勝れたるは無く
増長福寿の基は皆空の妙典に超えたるは無し

この一説、拙い解釈ですが、意識してみます。

大般若とは、過去・現在・未来の諸々の仏が、修
行した末に得る正しい悟りの実相であり、あらゆる
場所に示現される菩薩が、修行し、悟りを得るため
に見据えるべき目標である。

その説くところは、すべてが清め尽くされ融け合
うことの意義であり、その述べているところは、ど
こまでも静寂な心のあり方である。

国家安泰のための計画には、「般若」の道理は欠
かせず、健全な未来を生きる基本は、「一切皆空」
を説いたこの経典による外はない。

ここには国家安寧と人々の福を願う趣旨が述べられ
ています。法会とか法要というものは、多人数、少人
数、出家、在家にかかわらず、人々が営むものです。

一人一人が仏法護持の意識により正しい智慧に向かい、
誰か一人が責任を負うのではなく、一人一人が責任を
持つ。甚だ理想論ではありますが、仏教は民主主義の
基本にも通じるのではないのでしょうか。

待乳山使り

たけした事務所法要 報告



二月八日、たけした事務所様の
大般若法要を厳修いたしました。
たけした事務所様は毎年当
山にて法要を行っており、およ
そ二百名の方が参加されました。
大般若経の転読によって、今年
一年の厄除けを祈願いたしました。

ボーイスカウト修行体験 報告

二月十六日から十七日にかけて、浅草寺台東七団
ボーイスカウトの皆さんが当山に訪れました。住職
の指導の下、本堂で坐禅を体験
しました。

落ち着いて物事を見る事に
より、普段と違った感覚を得る
ことができました。日常生活で
も役に立つことでしょう。翌日
境内の清掃も行いました。短い
時間でしたが、ぜひ当山での経
験を日々の活動にも活かして
ください。



浴油講 報告

二月二十日、浴油講を執行いたしました。
大勢の方がご参拝され、浴油祈禱で使う胡麻油を
御宝前にお供えし、大般若法要を厳修いたしました。

法要終了後、泉水堯有師によ
る声明について法話がありま
した。

詳しい仕組みや称え方など
の説明に、参加された方は真剣
に耳を傾け、大きな拍手ととも
に終了いたしました。

稲荷祭 報告



三月四日午の日、稲荷祭が執り行わ
れました。

例年は多くの方が参拝に来られます
が、今年は新型コロナウイルス感染防
止のため、多くの方はご自宅でのお参
りをしていただきました。

お宮参り

三月六日、吉江泰輝ちゃんのお宮
参りが行われ、御宝前にてお加持を
授けられました。尊天様のご加護で
健やかに成長されることでしょう。



震災復興、疫病退散法要 報告



三月十一日、東日本大震災の復興
並びに新型コロナウイルス収束祈
願の大般若法要を執行いたしまし
た。

一日でも早い復興、収束を祈念し
ております。

四月御縁日大法要 行事紹介

安全講祈禱会

四月十九日(日) 午前十一時

講金 一、五〇〇円

皆様の安全を祈願する安全講
を執行いたします。

年末年始に発生し世界中に拡散
している新型コロナウイルスに
より、今まさに一人ひとりが不安
の中、生活をしております。



段冷静なときには考えられない
ような言動、行動をしてしまい、失敗をしてしま
うことがあります。

こういう時だからこそ、一人ひとりが冷静になる
ことが求められるでしょう。

常に冷静にすべてのことに対処するというのは難
しいことですが、少しでも不安を除くことにより、
致命的な失敗を避けることができます。

大般若転読による祈願で聖天様の功德をもって
様々な不安を取り払いましょう。

お申し込みは寺務所にて、用紙にお名前と家内安
全、身上安全、交通安全、旅行安全の四種類からお
選びください。

法要中に住職よりお守りをお加持いたします。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
信徒様におかれましては、ご自宅での出勤をお願
いいたします。

ご真言⑤

今回は当山で使われている大聖歡喜天札作法に載っているご真言を中心にお話いたします。

発菩提心真言 **オンボウジンシツタボダハタヤミ**

発菩提心真言はその名の通り、菩提心を発するご真言です。

菩提心とは「悟りを求める心」であり、特に大乘仏教では利他を強調した求道心であります。

三摩耶戒真言 **オンサマヤサタバ**

三摩耶戒とは、密教修行者の戒律です。

三摩耶の意味は修行者と仏が平等であるという意味も含まれており、自らが仏菩薩になり慈悲の心で人々を救済するという決意の表明ともとらえられます。

大聖歡喜天札作法では、三摩耶戒真言のあとに、『各自の所願を心中にて念ずべし』とありますが、発菩提心真言と三摩耶戒真言の意味を踏まえた上で願文を念じると、より願い事が現実的なものとなるのではないのでしょうか。

軍荼利明王 **オンアマリテイウンハッタ**

軍荼利明王には「甘露軍荼利」「蓮華軍荼利」「金剛軍荼利」の三種類があり、「オンアマリテイウ

ンハッタ」は甘露軍荼利のご真言です。甘露とは神々の不老不死の飲料を起源とし、仏教では悟りや仏の

教えそのものに例えられております。

密教では道場や供物、札守等を清めるときにもお称えします

光明真言 **オンアモキヤヒロシヤナカモダラ**

マニハンドマジンバラハラバリタヤウン

光明真言の功德については、「初めに滅罪の利益次に抜苦利益、次に加持土砂功德、この下に亡者三悪道の苦報を救い、西方極楽世界の蓮華の中に生ぜしむと説けり。次に鬼病の難を救う。次に病難を救う。その他鬼病、談論勝他、毒虫、屍起、愛敬貴人等の利益を説く。」と言われております。

滅罪、除病、亡者のためのご真言と考えればよろしいでしょう。

大金剛輪陀羅尼 **ナマクシチリヤジビキヤナン**

サルバタタギヤタナン アンビラジビラジマカシヤキ
ヤラバシリ サタサタサラテイサラテイ タライタ
ライビダマニサンバンジヤニ タラマシツタギレイタ
ランソワカ

読経や念珠を完璧に行うことはとても難しいことです。

特に長時間のお勤めとなると、最初から最後まで一切邪念を交えずに行うことは不可能に近いですし、



当然慣れないうちは読み間違ひなども多いかと思ひます。

そういった不完全を補完するというのもこの大金剛輪陀羅尼をお称えする一つの目的です。

ご真言は内容よりもお称えすることそのものが大事と言われております。むしろ、訳さない方が良いとの考えもあります。

理解をしていないと十分な功德が得られないという事はございません。

お称えするときには内容や意味は頭の片隅に置いて、一心にお称えすることに集中していただくことをおすすめします。

繰り返し一心にお称えしていくうちに、ご縁を感じる時が来るものと思ひます。そのときに本コーナーの解説がその一助になれば幸いです。

新型コロナウイルス感染防止対策について

新型コロナウイルス感染防止のため、今月に引き続き、四月の行事の一部も中止、または参拝の自粛をお願いしております。

詳しくは四面をご確認ください。

お参りの際はマスクの着用、入堂時に備え付けのアルコールスプレーの使用をお願いいたします。

また、換気のため定期的に本堂外陣の扉を開けております。

ご理解の程よろしくお願いいたします。

四月行事予定

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の行事を中止いたします。
また、執り行う行事に付きましても参拝の自粛をお願いいたします。

安全講祈禱会

四月十九日(日) 午前十一時 講金一、五〇〇円也(一鉢増毎五〇〇円)
法要は執行いたしますが、信徒様におかれましてはご自宅でのお勤めをお願いいたします。
また、法要後の公演は行いません。

朝まいり会

四月一日〜七日 午前八時から八時半 会費 五〇〇円也
当山僧侶で毎日お勤めは行いますが、信徒様の参加はお控えください。出席扱いといたしますので、ご自宅でのお勤めをお願いいたします。
また、七日のお齋食は中止となります。

日曜勤行

中止となります。

写経の会

中止となります。

坐禅の会

中止となります。



収束後、より一層充実した
行事を企画してまいる所存で

合同大般若法要

四月二十五日(土) 午前十一時 法要料 五、〇〇〇円也
法要は執行いたしますが、信徒様におかれましてはご自宅でのお勤めをお願いいたします。

五月の行事 御縁日大法要

香湯加持会 五月二十日(水) 午前十一時 講金 二、〇〇〇円也

ご祈禱のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。
またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈禱料

別座祈禱 壺万円(一週間)
浴油祈禱 三千五百円(一週間)
華水供 五百円(一日)

法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。
百味供養 法要料 八万円
沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。
大般若法要 法要料 五万円
所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。
自動車加持 法要料 壺万円
当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。ご意見やご質問は ityou@matsuchiyama.jp までメールをお送りください。